

# 外国にルーツを持つ子ども達の現状

## こころ と からだ

非自発的来日  
の場合、**反発・  
異文化不適合**  
の可能性高まる

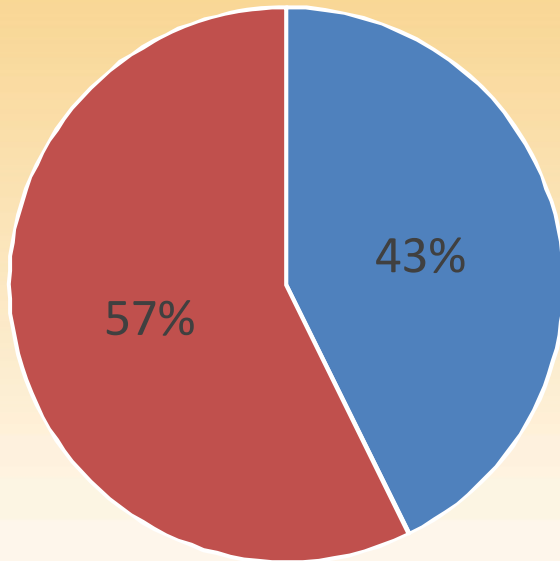
**家庭内言語状  
況**により、心身  
が不安定化する  
こともある

**非行、犯罪、10  
代での妊娠**など  
リスクが高い



# 非自発的来日

## 在籍生徒来日状況



- 呼び寄せ以外(日本生まれ/保護者との来日)
- 呼び寄せ

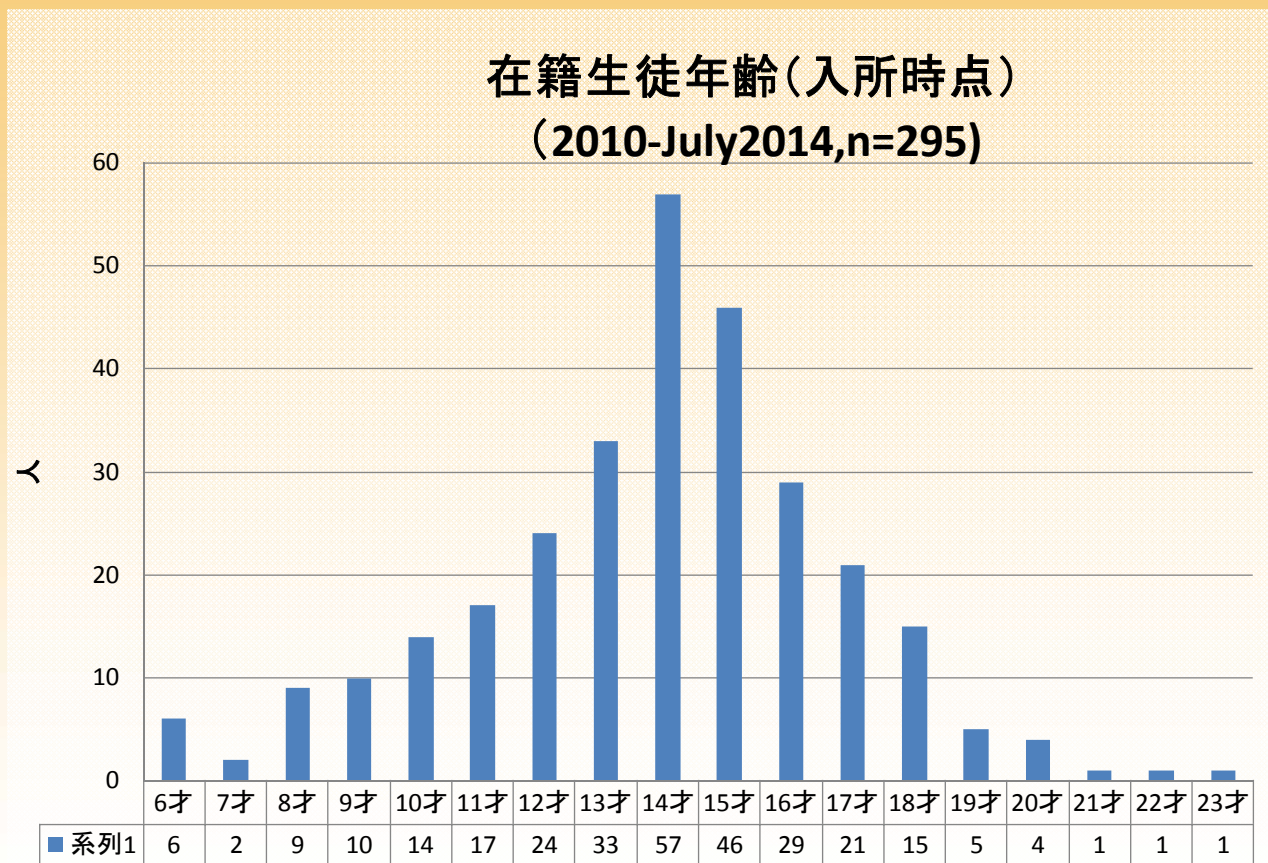
## 『呼び寄せ』

外国人の親(主に母親)が、子どもを一時的に出身国の親戚などに預けた後日本での生活を継続。

その後、日本での生活が安定  
または子どもの教育の節目  
(小学校修了時点、中学校相当終了時点など)  
で日本で共に暮らすために本国から  
「呼び寄せ」ること。

非自発的来日の場合、学習意欲が持ちづらいことや、社会の中で疎外感を感じ非行や犯罪などに手を染めやすいなどの傾向が見られる

# 10代での来日ケースが多い



10代で来日し、公立中学校へ入るには日本語能力が不十分として入所に至るケースや、出身国で義務教育終了後來日し高校進学希望者が多い。  
(70%が来日3年未満)

➤ 当事者状況の困難に加え、支援のむずかしさ／  
外国にルーツを持つ若者に対応可能な支援者が不足

# 外国にルーツを持つ若者について

## 支援の不在

義務教育年齢を外れた場合、支援機関や社会的資源から「見えなく」なる

働いた経験とスキル、日本の労働・雇用環境に関する知識がない

自立・就労支援／機会の場が限定的（≠就業支援）



# 青少年自立援助センターにおける 外国にルーツを持つ若者自立・就労支援スキーム

居場所  
学びなおし

アウトリーチ

- 支援対象者の発見
- 相談・家庭訪問

語学研修

- 日本語初級講座
- 「仕事の日本語コミュニケーション」講座
- 就活準備クラス

就労支援

- サポステコンテンツの利用
- 日本社会・労働環境、職場文化に関する学習等

スキル  
トレーニング

自立・就労

生活基礎訓練

キャリア・カウンセリング

## 実態把握

- 外国にルーツを持つ子ども・若者とその保護者の実態調査

## 外国人ひとり親家庭／困窮家庭への支援

- ひとり親支援施策へのアクセス確保（多言語対応／発見～参加までの伴走など）

## 外国にルーツを持つ子どもの学習・支援機会の確保・専門性向上

- 年少者・ティーンエイジャー／日本語を第1言語とする子どもに対する日本語・学習支援人材の育成
- Out of school の子どもたちのサポート（居場所、多言語カウンセリング）

## 日本で生きる力の育成

- 日本社会に対する知識と理解の育成
- 基本的な生活スキルトレーニング

## 就労・自立支援機会の確保

- 若者の発見・誘導
- 支援者育成
- 「ショウカイ」を超えた就労機会選択の拡大
- 伴走支援



